



# 奈良県感染症情報

令和2年第26週(6月22日～6月28日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

- 小児科外来情報

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.62	(1.76)	↘	↘	→	↑
2	A群溶連菌咽頭炎	0.68	(0.47)	↑	↑↑	↘	↑↑
3	突発性発しん	0.59	(0.47)	↘	↘	→	↑↑
4	手足口病	0.15	(0.12)	↘	↑	→	↓
5	咽頭結膜熱	0.09	(0.00)	↑↑	↑↑	↑	→

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↘やや増加**、**→横ばい**、**↓やや減少**、**↓↓減少**

## ◆ 県内概況 ◆

先週に引き続き、定点把握感染症の報告数は少ない状態で推移しています。第26週も第22週(5月25日～5月31日)から引き続き、奈良県内での新型コロナウイルス感染症の報告はありませんでした。

破傷風が第26週に報告されました。破傷風は、日本全国では年間100名ほどが罹患しており、奈良県内での報告数は過去5年間、年に0～3件の間で推移しています。破傷風は土壌中に広く存在する破傷風菌が怪我などで傷ついた皮膚から侵入し産生する毒素の一つである神経毒素により開口障害、嚥下困難、強直性痙攣などを引き起こす人獣共通感染症です。1968年の予防接種法によるジフテリア・百日咳・破傷風混合ワクチン(DTP)の定期予防接種化以降、日本国内での破傷風患者・死亡者の数は減少しておりますが、破傷風は依然として致命率が高いです。DTPの予防効果は約10年であるため、土いじり、農作業、工事に関わるような感染リスクの高い方は再接種を検討しましょう。医療機関では破傷風含有ワクチンの接種歴と傷の汚染の程度によって対応が異なりますのでワクチン接種歴を記録した母子手帳などを保管しておきましょう。また、ワクチン接種で予防可能な感染症は破傷風以外にも麻疹、風疹など他にもあり、それぞれかかりやすい年齢を加味した適切なタイミングがありますので遅らせずにきちんと接種しましょう。

## ❖ 小児科外来情報 ❖

### 北部地区(田中小児科医院)

少数例の感染性胃腸炎と溶連菌感染性があった。  
二峰性の発熱があった発疹性疾患があり、ウイルス検査中。

### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は依然少ない。  
幼稚園児でアデノ様高熱例、学童で水様便の感染性腸炎がみられる。  
その他の登録感染症はなかった。

### 南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

感染性疾患の大きな流行はみられない。軽症の呼吸器感染、ウイルス性咽頭炎が散見されるのみ。  
手足口病、ヘルパンギーナの流行もみられない。

新型コロナウイルス対策が気になる保護者の方へ

**遅らせないで!**  
子どもの**予防接種**と  
**乳幼児健診**



お子さまの健康が気になるときだからこそ、  
予防接種と乳幼児健診は、  
遅らせずに、予定どおり受けましょう。

予防接種や乳幼児健診は、お子さまの健やかな成長のために  
一番必要な時期に受けていただくよう、  
市区町村からお知らせしています。  
特に赤ちゃんの予防接種を遅らせると、免疫がつくのが遅れ、  
重い感染症になるリスクが高まります。



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 2 年 第 26 週 6 月 22 日 ~ 28 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱	3 (0.09)		1 (0.11)		2 (0.33)			
A群溶連菌咽頭炎	23 (0.68)	4 (0.44)	4 (0.44)	8 (1.14)	4 (0.67)		3 (1.50)	
感染性胃腸炎	55 (1.62)	7 (0.78)	21 (2.33)	9 (1.29)	14 (2.33)	4 (4.00)		
水痘								
手足口病	5 (0.15)	2 (0.22)	1 (0.11)		2 (0.33)			
伝染性紅斑	1 (0.03)				1 (0.17)			
突発性発しん	20 (0.59)	5 (0.56)	3 (0.33)	5 (0.71)	6 (1.00)		1 (0.50)	
ヘルパンギーナ	2 (0.06)			2 (0.29)				
流行性耳下腺炎								
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	1 (0.10)			1 (0.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)				1 (1.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 (0.17)		1 (0.50)					

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核2件(郡山1, 中和1)
3類感染症	
4類感染症	日本紅斑熱1件(郡山1)
5類感染症	アメーバ赤痢1件(郡山1) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2件(奈良市2) 破傷風1件(中和1)

❖ 第26週のトピックス ❖

◆IASR 41(6). 2020【特集】デング熱・デング出血熱 2015~2019年  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/dengue-m/dengue-iasrtoc/9691-484t.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。  
 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数  
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						3009
	女																						2919
RSウイルス感染症	男																						104
	女																						69
咽頭結膜熱	男		1	1																			2
	女			1																			1
A群溶連菌咽頭炎	男			1	2	3	3	2	1	1		1											14
	女			1				2	2		1	1	2										9
感染性胃腸炎	男		2	4	2	2	1	1	1	2		1	7	2	2								27
	女		2	3	1	3	1	2	3	2	2			1	8								28
水痘	男																						70
	女																						62
手足口病	男	1	1																				2
	女			2		1																	3
伝染性紅斑	男		1																				1
	女																						1
突発性発しん	男		3	8	1	1																	13
	女		3	4																			7
ヘルパンギーナ	男			1			1																2
	女																						1
流行性耳下腺炎	男																						6
	女																						9
急性出血性結膜炎	男												1										1
	女																						1
流行性角結膜炎	男																						23
	女																						22
細菌性髄膜炎	男																						3
	女																						3
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男																						15
	女															1							13
クラミジア肺炎	男																						1
	女																						1
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1
	女																						6

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

